

BIGMARBLEの教育的可能性

BIGMARBLEの楽しさ面白さは、「未知との遭遇」「意味のある偶然」「心理的限界の克服」の積み重ねにあると思います。

はじめて触れたときの独特の感触、不安定な座りごごち、予想以上の弾み、などなど。好奇心がそのまま創造（想像）意欲にかわるのに時間を要しません。興味の発露を注意深く観察しましょう。

BIGMARBLEのスリルとリスクは基本的に自己責任の範疇です。「勇気を持って挑戦する」と「危険を顧み自制する」が、かわるがわる顔を出します。こころの動きに着目し「いまだ！」を見極めましょう。

安全管理を盤石にし、「勇気を持って挑戦する」克己心をみまもりたいものです。また、「危険を顧み自制する」自己抑制もまた、情操の萌芽として育みたいものです。

困難を克服しての成功体験の積み重ねは、勉強やスポーツに通じる大切な要件です。「できた！」「成功！」「合格！」したときの気持ちに共感し、いっしょに味わいましょう。

「あきらめない」「なげださない」「もう一回やってみる」を根気よくみまもりたいものです。適切なタイミングで適切なアドバイスができるように研究、準備が肝要です。

「痛い」「びっくりした」「ドキッとした」「はずかしい」という経験も成功体験と同様に貴重なものです。「ころびながら覚える」「泣きながらも頑張る」を遠ざけていませんか？

「できる」と「できない」の違いを、自分で考える習慣を養いたいものです。「見たり」「聞いたり」「まねをしたり」することが、探究心の入り口になります。

時にはグループで課題に挑戦してみましょ。相手と自分のからだの共通点や違いを見つけることが、個性を育むということです。また、一緒になって「考えたり」「励ましたり」「悩んだり」することで思いやりが芽生えます。

「やってみたらできちゃった」「たまたまそうなった」という、意味ある偶然が上達のスパイスになります。思わぬところに革新があるものです。範例に縛られないところが子どもらしさの所以です。

ダンスや、体操、他のスポーツの補助運動として工夫してみましょ。トレーニングや柔軟体操の器材としてのみならず、様々な活動を子どもたちといっしょになって考えてみましょ。

「競い合い」の場やルールを設け、競争や記録取りによる、「勝ち負け」「優劣」をはっきりと示してみましょ。「競争」「強制」も大切な教育です。

子ども通して「教え合う」ことを積極的に取り入れてみましょ。「教えることで学ぶ」楽しさや喜びを次の世代へと紡いでいきましょう。